

奈留島における保育環境を通じた地域交流プロジェクト

建築・デザイン学部 建築・デザイン学科 藤本ゼミ
家政学部児童学科 白川ゼミ

目的

本学は2022年7月に、長崎県五島市と連携協定を締結した。五島市は、交流人口の拡大やSDGsへの貢献、地方創生および地域振興を目指している。本プロジェクトでは、東京の女子大学生の視点から五島市の魅力を調査するとともに、同市が直面している課題を抽出し、その解決に向けた提案を行うものである。具体的には、「五島市の教育を中心とした生活空間の向上」を目標とし、藤本ゼミと白川ゼミがそれぞれの専門分野の視点から、五島市の教育空間の現状と課題について議論を重ね、活動を進めた。

フィールドワークの活動内容

2025年9月2日から3日間にわたり、児童学科の学生3名および建築・デザイン学科の学生10名とともに、長崎県五島市の福江島および奈留島においてフィールドワークを実施した。本フィールドワークでは、奈留さくら保育所、奈留小学校、奈留中学校、奈留しまなび舎、空き家等の視察に加え、海水浴や星空観察ツアーといった体験活動も行った。また、五島市および奈留島在住の方々や保育士を対象に調査を実施した。調査方法としては、参与観察、インタビュー、アンケート等を用いた。

五島高校訪問

日程：9月4日(合宿3日目)

五島高校の生徒との交流を、半日かけて実施した。まず、共立女子大学およびこれまでのゼミ活動について紹介した後、高校生と大学生が混合グループを形成し、互いに関心のある事柄について積極的に質疑応答を行った。



奈留さくら保育所訪問

島で唯一の保育所は、2024年4月に市立奈留小中学校の空き教室へ移転した。

<移設の理由>

1. 幅広い年代の子どもが同じ場所で学ぶことで、コミュニケーションの機会が増え、思いやりの心を育む効果が期待できるため。
2. 幼児期の教育と児童期の教育を円滑に接続することが可能となり、いわゆる幼保小連携を推進できるため。
3. 奈留島独自の一貫教育として、「しま」ならではの保育環境を整備できるため。

・給食は小中学校と同様の内容が提供されていた。
・保育所と小中学校が物理的に一体化した稀有な環境を視察したことで、「当たり前」と捉えていた教育環境が地域によって大きく異なることを実感した。

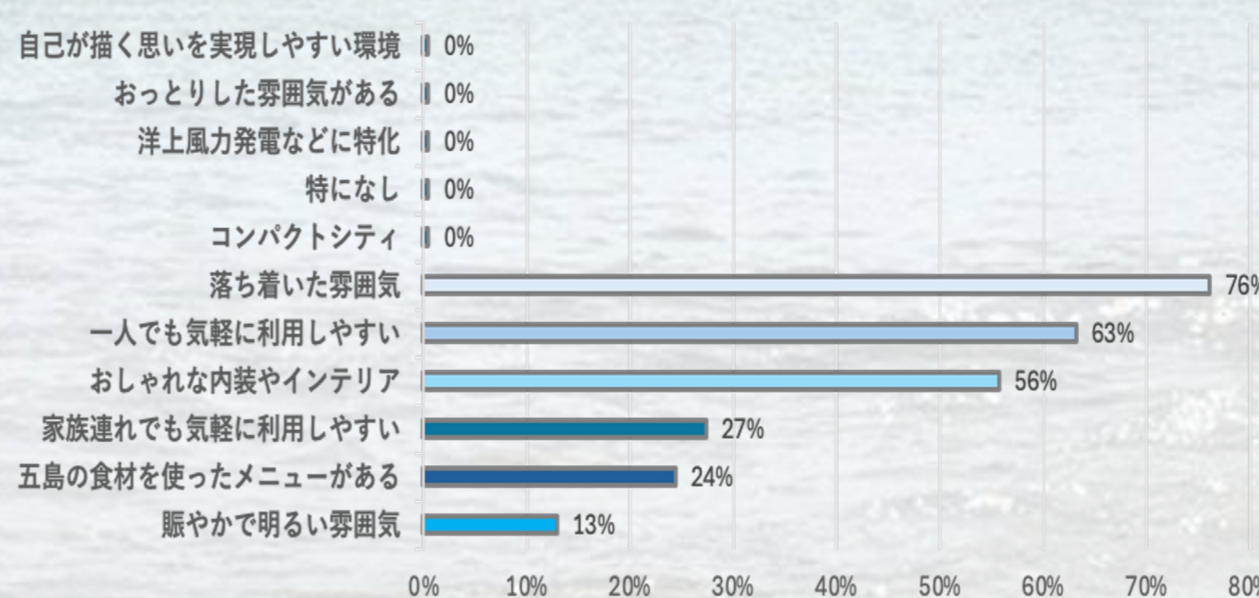


アンケート・結果

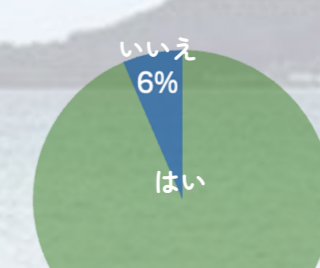
私たちは空き家のリノベーションにあたり、五島市役所の協力を得て、五島市在住の方々を対象にインタビューおよびアンケート調査を実施した。アンケートはGoogleフォームを用い、201名から回答を得た。地域においては、運動会や祭り、清掃活動などを通じた交流が行われているとの回答が見られた。

五島の魅力としては、自然環境や食材の豊かさが高く評価される一方で、閉鎖性や利便性の低さを理由に、居住に対して慎重な意見も確認された。特に、映画館などの娯楽施設の充実を求める声が多かった。また、利用したいカフェの条件としては、「落ち着いた雰囲気」「一人でも気軽に利用しやすいこと」「おしゃれな内装やインテリア」が上位に挙げられ、ゆったりとした時間を過ごせる場へのニーズが高いことが明らかとなった。

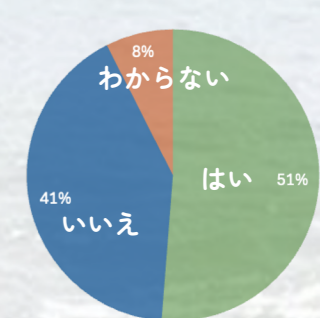
利用したいと思うカフェの特徴



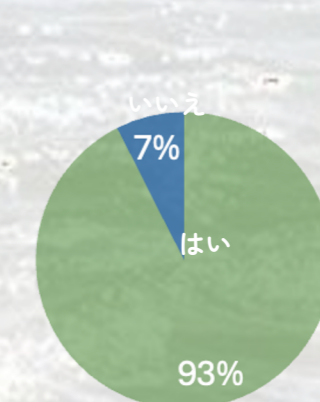
地域の方とのつながりは大切だと思いますか？



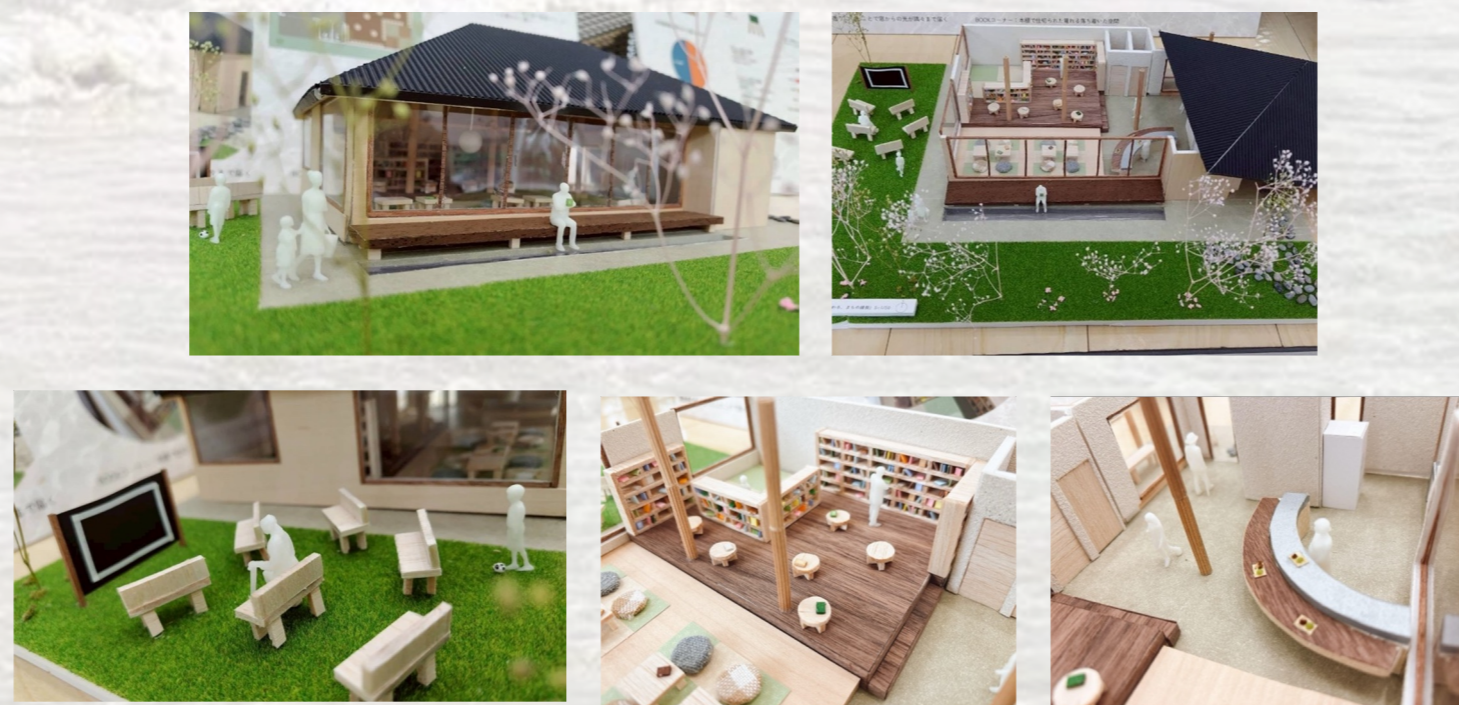
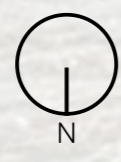
住民同士が交流する機会や場所はありますか？



カフェがあれば利用したいと思いますか？



空き家のリノベーション



「本と湯と人が交わる、まちの縁側」
足湯ブックカフェ

五島市では、近年、空き家の増加が課題となっている。そこで、空き家バンクへの登録促進を目的とした施設の提案を行い、あわせて模型の制作を行った。

また、実際に空き家バンクに登録されている物件を見学し、所有者へのヒアリングを通じて現状の課題や実態を把握した。本提案は、空き家の活用促進を目的とし、住民の声を反映した新たな空き家の在り方を示すものである。さらに、提案する施設を通じて空き家の魅力を体感できる空間の創出を目指した。

五島展

2026年1月20日から22日の3日間、共立女子大学 2号館 コミュニケーションギャラリーにて「五島展」を開催した。ゼミ合宿での体験や学びをもとに展示を行い、来場者の方に五島市の魅力を感じていただくことができた。展示パネル横に感想を書くコーナーを設け、「五島市へ足を運んでみたくなった」「五島に住んでみたい」「空き家のリノベーションが世の中にもっと増えて欲しい」などの感想をいただいた。



感想

五島市との地域連携により様々なことに挑戦できたゼミ活動であった。実際に五島へ足を運び、調査を行うことで机上調査では得られない気付きや課題点を発見することができた。また今年は五島高校との交流もあり、若い世代を含めた多世代にわたる生の声を聞くことでさらに多くの発見と学びを得られた。ゼミ活動を通して、多角的なアプローチをすることの大切さを学んだ。今回の経験で得られた学びを、今後の研究で活かしていきたい。

謝辞

本プロジェクトを行うにあたり、大変お世話になりました五島市の御関係者の方々に心より感謝申し上げます。本プロジェクト学内の御関係者の皆様に多大なるご尽力を賜りましたこと、御礼申し上げます。